専門家に聞く

税務Q&A　法人税の減税（法人税率引下げ、中小法人の交際費課税）

九州北部税理士会　福岡支部　調査研究委員会　南立 清治　（九州北部税理士会 福岡支部　ホームページ http://www.kyuhokuzei-fukuoka.jp/）

Q 最近の法人税改正で、中小法人にとって影響が大きいと思われる減税措置を教えてください。

最近の法人税改正は、国内企業の活性化・雇用の維持・拡充を図っていく観点から、研究開発・投資減税、雇用増の減税、国際競争力強化等の税率引下げなど、企業活動の下支え・活性化のための措置が多く講じられています。今回はこれらの減税措置のうち、法人税率の引下げと中小法人の交際費課税の概要を説明いたします。

1. 法人税率の引下げ等

①改正法人税率と適用時期

（平成23年12月改正）

通常の1年決算の普通法人等であれば、**平成25年3月期から法人税率は25.5%**（改正前30%）が適用されています。

ただし、**資本金1億円以下の中小法人**(注1)**については、課税所得年800万円以下の部分に対する法人税率は15%**（改正前18%）に軽減されています。

この中小法人に対する軽減税率は、法人税法で19%（改正前22%）となっているところを、租税特別措置法により3年間の時限措置(注2)として15%にされています。

②復興特別法人税

①のように法人税率が引き下げられましたが、通常の1年決算法人であれば、**平成25年3月期から3期間は、**基準法人税額に10%を乗じた復興特別法人税を通常の法人税と同じ時期に申告・納付することとなっています。

この復興特別法人税が課税される期間の負担率は、①の法人税率に復興特別法人税を加味したところの25.5%→28.05%、15%→16.5%となります。

③法人の実効税率と所得税等の累進税率の比較

①の法人税率引下げにより、中小法人の実効税率(注3)は課税所得年800万円以下で約24%、同年800万円超で約36%となります。（復興特別法人税は考慮しない。）

これを個人の課税所得のランクと合計税率（下記表）で比較してみると、課税所得年330万円超で中小法人の実効税率の方が低くなっています。

2. 中小法人の交際費課税（平成25年度改正）

法人が支出する交際費等は、租税特別措置法の規定により損金の額に算入しないこととされています。

ただし、中小法人(注1)については、年600万円に達するまでの交際費等は、その支出した交際費等のうち10%相当額のみを損金に算入しない取り扱いとなっています。

今回の改正で、この**中小法人の支出する交際費等について、損金算入枠が年800万円に拡大されるとともに、この枠内であれば全額が損金に算入される**こととなりました。

この改正の適用時期は、**平成25年4月1日以後に開始する事業年度分**の法人税について適用され、同日前に開始した事業年度分の法人税については、従来どおりの適用です。（1年決算であれば、平成26年2月期決算法人までが従来どおりの適用となります。）

（注1）事業年度終了の日における資本金の額又は出資金の額が1億円以下の法人をいい、普通法人のうち資本金の額又は出資金の額が5億円以上の法人などの一定の法人による完全支配関係がある子法人等を除きます。
（注2）平成24年4月1日から平成27年3月31日までの間に開始する各事業年度
（注3）実効税率＝法人税率×(1+住民税率)+事業税率）÷(1+事業税率)

参考
国税庁HP　法人税関係改正
（ホーム▶税について調べる▶パンフレット・手引き）
http://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/pamph/01.htm#a-05

表

課税される所得金額	所得税率	住民税率	合計税率
195万円以下	5%	10%	15%
195万円超　330万円以下	10%	10%	20%
330万円超　695万円以下	20%	10%	30%
695万円超　900万円以下	23%	10%	33%
900万円超　1,800万円以下	33%	10%	43%
1,800万円超	40%	10%	50%

（平成27年の所得税率から4,000万円超45%が追加されます。）

健康Q&A　皮膚のシミ

国立病院機構九州医療センター ●●●●●●●●●●●●●●

症例　55歳女性。約10年前に目の下に対称性に、そばかす様の褐色色素斑が出現。徐々に目立つようになり、皮膚科を受診。後天性真皮メラノサイトーシスの診断でレーザー治療を勧められた。3か月に1度のレーザー治療を4回受け、色素斑はほとんど目立たなくなった。

皮膚の顔のシミにはどんな種類がありますか。

いわゆる年とともにできてくる老人性色素斑、女性に多く妊娠や紫外線照射で増悪する肝斑、それから中高年の女性にみられ、やはり紫外線照射で増悪する後天性真皮メラノサイトーシスの3種類が主なものです。

老人性色素斑はどんなもので、どのような治療法がありますか。

老人性色素斑は、いわゆる老化現象のひとつで年とともに増えてくるシミです。他の顔のシミとの鑑別は比較的容易です。治療は凍結療法である程度うまく色素が軽減することもあります。また下記の肝斑の治療である程度色が薄くなることがありますが、レーザー治療のほうが確実です。治療にはQスイッチルビーレーザーなどのレーザーが使用されており、その有効性は高く、1回治療でシミが消失してしまうこともよくあります。

肝斑とはどんな病気ですか。

典型例では左右対称性に両下眼瞼を避けるように弧状に頬部に、均一な濃褐色～淡褐色斑が拡がります。中年の女性に多く、妊娠や紫外線照射で増悪します。

肝斑ではレーザー治療は禁忌と聞きましたが本当ですか。

肝斑のレーザー治療については、従来のレーザー治療は禁忌といわれていましたが、最近ヤグレーザーによるトーニング法という方法の有効性が指摘されてきており、レーザー治療が禁忌というわけではなくなってきています。一般に肝斑ではトラネキサム酸（トランサミン）の内服が有効であることが多く、数か月の内服でかなり薄くなります。ビタミンCの併用もよく行われます。また、ハイドロキノン、トレチノイン（レチノイン酸）、その他のメラニンを減少させる美白剤の単独、あるいは併用も有効であるとされています。ケミカルピーリング、ビタミンCなどのイオントフォレーシスも用いられています。

後天性真皮メラノサイトーシスとはどんな病気ですか。

対称性真皮メラノーシスともよばれ、真皮にメラニン色素を持つメラノサイトが増加する疾患です。主として中高年女性の顔面に対称性に両頬に褐色、青褐色の斑点が多発します。また眼瞼、両鼻翼に色素斑が見られることがあります。

女性に発症が多いこと、日光が増悪因子であることなど肝斑との類似点が多いのですが、肝斑との鑑別が必要になります。というのも、この疾患は一般の肝斑の治療はまったく効果が無く、Qスイッチレーザー治療が著効するからです。著効するレーザーの種類は老人性色素斑で使用されるものと同じです。一般に3か月に1度の照射で4～5回の治療を要します。

レーザー治療は保険がきくのですか。

皮膚のシミに対しては保険適用はありません。私費診療になります。また、治療されるシミの種類により治療方法、治療期間、治療費用も異なりますので、治療されるクリニックや病院でよく相談されてください。

●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●